

海外安全対策情報（2022年1月～3月）

在ベネズエラ日本国大使館

1 社会・治安情勢

当地NGOの統計によれば、2022年1月～3月の間に発生したデモ件数は1,909件で、前年同期（1,506件）比で約27%増加、同期間中におけるデモの最中の死者数は0人でした。

近年のデモ活動は、公共サービスの改善を求めるものが首位を占めていましたが、2022年第1四半期は、労働問題に関する権利を求めるデモ活動が最も多く発生しました。労働者は、3月に行われた最低賃金の改定額（月25米ドル相当）に抗議する様々な活動を行い、1日1米ドル未満で生活するベネズエラの労働者の窮状を示し、この国の経済状況では不十分な額であることを訴えました。次いで、公共サービスの改善を求める抗議活動、政治に関する権利を求める抗議活動が続いています。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）全般

当地治安当局によれば、2022年1月～3月の犯罪発生認知総件数は、前年同期比で約11%減少しています。一方、カラカス首都区における犯罪発生認知総件数は、前年同期と比べてほぼ横ばい状態で推移しています。

（2）各論

同当局によれば、全国で認知された事件の内、殺人事件や、車両強盗事件、強姦事件、身代金目的誘拐事件、詐欺事件等の発生件数が減少した一方、強盗事件の発生件数が増加しました。また、カラカス首都区では、窃盗や強盗件数が大きく増加しています。この原因について、以前は、食料や物資が不足し、また、犯罪者等が国外に流出したこともあって犯罪件数が抑えられていましたが、現在は、コロナに関する規制が緩和されて市民生活が元に戻りつつあり外出の機会が増えた結果、犯罪者に狙われる機会が増えたと分析しています。

（3）邦人及び邦人以外の被害事案

なし

3 テロ・爆弾事件発生状況

国境沿いでは、みかじめ料を払わない商店等に爆発物を投げ込む事案が散発して負傷者も出ているもようです。引き続き、国境沿いの地域へは近づかないようにしてください。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

当地治安当局によれば、2022年1月～3月中にカラカス首都区及び複数の州で身代金目的誘拐事件が発生しています。外出の際は、事前に外出先の治安情報を収集し、目的地までの経路や交通手段を十分に検討してください。